

令和2年度入試【AO入試Ⅱ】

小論文

(人間科学部)

注 意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけません。
- 2 問題紙は7ページです。解答用紙は3枚、下書き用紙は3枚です。
指示があってから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入してください。
- 3 解答はすべて解答用紙の所定のところに記入してください。
- 4 解答は横書きとします。字数を指定したものは、句読点を字数に含めて数えてください。
アラビア数字は2字で1字として計算してください。
- 5 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
- 6 試験終了後、問題紙および下書き用紙は持ち帰ってください。

人間科学部 小論文 問題

1

次の文章を読んで、問1～問3に答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(出典:塩瀬隆之 (2019)、「弱いロボットとテクノロジーの受容」、嶺重慎・広瀬浩二郎・村田淳編『知のスイッチー「障害」からはじまるリベラルアーツ』、岩波書店、40-55 ページより一部改変)

注

- 1) 機器類を入れる箱
- 2) 国際電気通信基礎技術研究所で取り組まれていた岡田美智男 (豊橋技術科学大学) らによる「弱いロボット」の研究プロジェクト
- 3) 乳児が発する、まだ言葉にならない段階の声

問 1

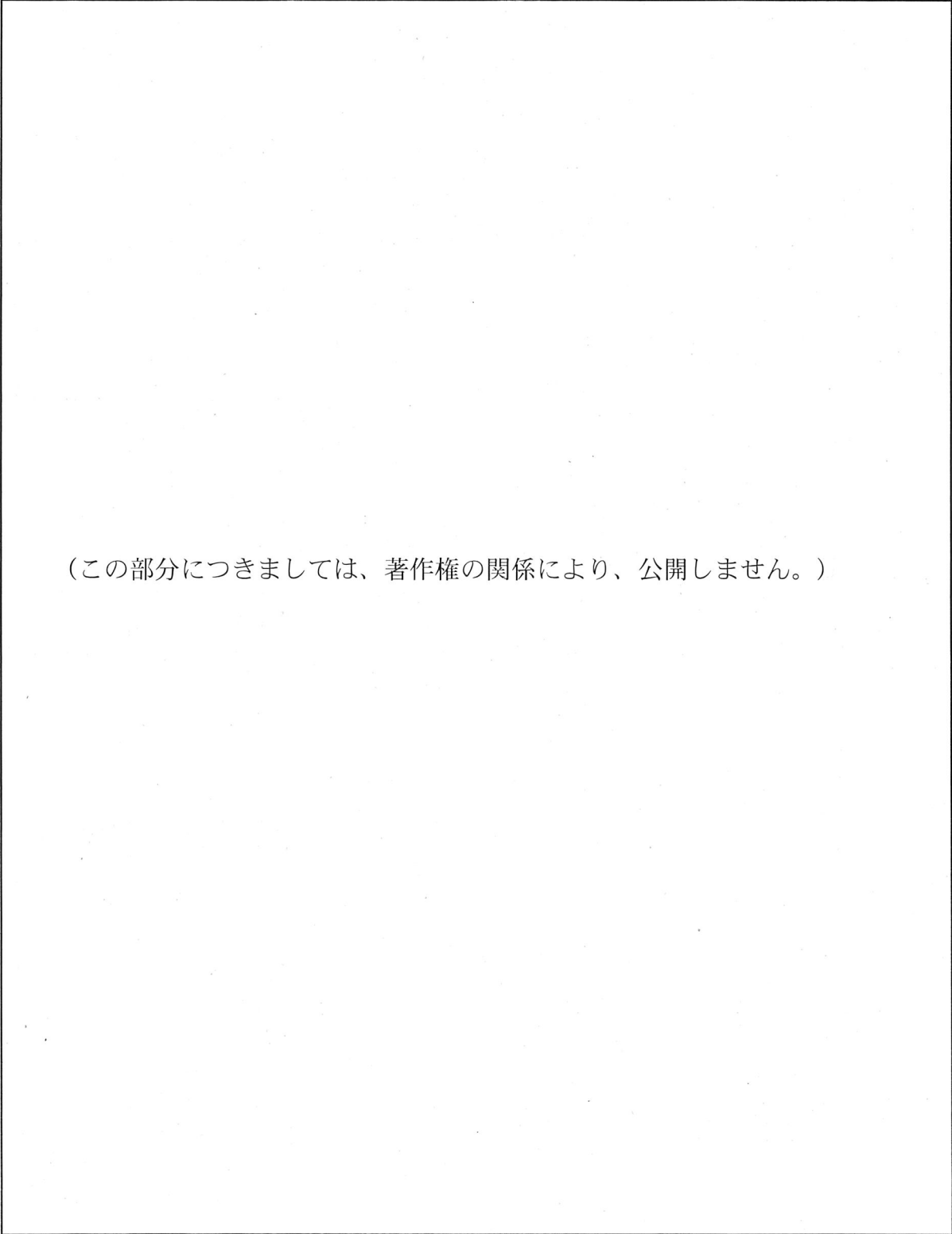
「強いロボット」「弱いロボット」の特徴はどのようなものなのか、筆者の考えに従って、200 字程度で説明しなさい。

問 2

下線部 (a) 「話し手と聞き手との共犯性があり、常に二人三脚の共同作業として成り立っている」とはなにか。筆者の考えをふまえて 100 字程度で説明しなさい。

問 3

下線部 (b) について、本文に書かれている例以外で、あなたの身の回りにある具体例を挙げ、「対話」「体験」という言葉をそれぞれ最低 1 回は用いて、あなたが考える線を引き直す方法について 250 字程度で説明しなさい。



(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(出典：溝川藍・子安増生(2019)、「他者理解と共感性の発達」、心理学評論、58巻、360-371ページより一部改変)

問1

図1からあなたが読み取った事柄を80字程度で答えなさい。ただし、解答の幅を広げすぎずに、「統計的に差がある」「統計的に差があるとは言えない」の結果が示すことについて述べること。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(出典:溝川藍・子安増生(2019)、「他者理解と共感性の発達」、心理学評論、58巻、360-371ページより一部改変)

問2

図2の結果からあなたが読み取った事柄を80字程度で答えなさい。

問3

図1、図2の研究結果を踏まえて、「共感的関心」と「感情を読み取る力」は、人間関係を構築するうえでどのように影響すると思うか、あなたの考えを200字程度で述べなさい。